

財務省行政事業レビュー（外部有識者会合）議事概要

- 1 日 時：令和5年5月10日（水）14：00～15：20
- 2 場 所：財務省第1会議室
- 3 出席者（敬称略、五十音順）
 - 財務省選任外部有識者
 - 尾花 眞理子（弁護士：モリソン・フォースター法律事務所）
 - 梶川 融（公認会計士：太陽有限責任監査法人代表社員会長）
 - 持永 勇一（教授：早稲田大学大学院会計研究科）
 - 行革事務局選任外部有識者
 - 河村 小百合（株式会社日本総合研究所調査部主席研究員）
 - 山田 肇（特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム理事長）
 - 財務省
 - 青木大臣官房長ほか

4 議事次第

- (1) 開会
 - (2) 公開プロセス対象候補事業の選定理由及び論点説明
 - (3) 質疑・議論
 - (4) とりまとめ
 - (5) その他
 - (6) 閉会
-

〔議事概要〕

- 公開プロセス対象候補事業として、以下の2事業を提示。
 - ・ 電話相談センター運営経費
 - ・ 新創業融資等実施事業（日本政策金融公庫補給金・日本政策金融公庫出資金）
- 公開プロセス対象候補事業の概要、選定理由及び想定される論点について、財務省から説明
- 外部有識者からの主なコメント
 - 【電話相談センター運営経費】
 - ・ タックスアンサーやチャットボットの活用意義とそれを踏まえた上で電話相談のあり方を今一度整理し、改めて事業名も含めて活動目標や成果指標の設定を検討

すべきではないか。

- ・ 相談者（納税者）のニーズをきめ細かく把握することでよりニーズに沿った指標を設定できるのではないか。また、業務効率化の観点からのアウトカム設定という議論も出来るのではないか。

【新創業融資等実施事業（日本政策金融公庫補給金・日本政策金融公庫出資金）】

- ・ 融資を受けた事業者の成長と本制度利用からの脱却を促す観点でのアウトカム指標の設定は出来ないか。あるいは、民業圧迫防止の観点からのアウトカム指標の設定は可能か。
- ・ 定性的なアウトカムの代替指標としている各指標が、代替としてもあまり適当ではない印象だが議論の余地はあるか。
- ・ 「必要な人に必要な資金が渡っているか」という観点の成果目標を立てられればEBPMとして最適と考えられるが、市場ニーズを何らかの形で把握した上でアウトカム指標を設定することは可能か。
- ・ 実施者である公庫側が政策効果部分を財務省に説明した上で、財務省はそれを評価することがアウトカムになるのではないか。

○ 選定結果

外部有識者の投票により、「電話相談センター運営経費」を公開プロセス対象事業として選定した。

（以 上）